

昨年、小学校で行われた「カーボンオフセット年賀」を用いた授業の様子。乙武先生の話に子どもたちも興味津々！  
おとakeひろただ/1976年生まれ。大学在学中『五体不満足』を出版。スポーツライターとして活躍後、'07年小学校教諭二種免許状を取得。同年4月から、杉並区立杉並第四小学校教諭として勤務。



# 年賀状を出すだけで、誰でもCO<sub>2</sub>を減らせる?!

カーボンオフセット年賀  
語ってくれた人／乙武洋匡さん  
おとakeひろただ  
協力/郵便事業株式会社

気が早いけど、もう年賀状の話させて下さい。  
あなたが通常の年賀はがきを買う前に。  
「カーボンオフセット年賀」で年賀状を出すだけで、CO<sub>2</sub>削減に貢献することができるんです。  
年賀状を届ける相手にも、きっとそれが伝わります。

text / naomi funakawa  
design / atsushi inoue(100mm design)

1年に1度の始めに交わす年賀状。メールでのやり取りが主流だけど、年明けに郵便受けを開けると年賀状が届いている嬉しさは、大人になっても格別！子どもなら尚のこと。お世話になっている人に、普段伝えられない感謝の気持ちを伝えられる貴重な機会でもある。

その年賀状に、昨年、地球温暖化防止に配慮した「カーボンオフセット年賀」が登場した。近頃よく聞くカーボンオフセットとは、省エネを実行したうえで、それでも発生してしまうCO<sub>2</sub>(カーボン)を、自然エネルギー利用発電や植樹などにより削減する活動を支援することでその排出量の埋め合わせをし(オフセット)、地球規模でCO<sub>2</sub>を減らすという考えだ。国や大企業では既に実施されているけれど、個人で実行するにはどうすればいいのか。そこで、目をつけられたのが国民的行事ともいえる年賀状の存在だ。寄附金付きの年賀状はこれまでもあったけど、それにカーボンオフセットを目的とした年賀状が追加したというワケ。つまり、この年賀状を購入すれば、誰でも気軽にカーボンオフセットができる。また、「カーボンオフセット年賀」にはその意義が書かれており、送った相手にもカーボンオフセットという考え方を広められる。

寄附金は1枚につき5円。昨年の販売数は約1500万枚で、約7500万



円の寄附金が集まった。さらに、寄附金と同額を寄附するというマッチング寄附により、年賀はがきを発行する郵便事業株式会社が7500万円を寄附。合計約1億5000万円の寄附金でカーボンオフセットを行えることに。風力発電や木材廃材による発電事業を行う世界の3つの団体から、3万8175トンの排出量を取得した。「カーボンオフセット年賀」を10枚買うと、1人が家庭生活で排出する1週間分のCO<sub>2</sub>を埋め合わせられる計算になる。

「カーボンオフセット年賀」を1人で多くの人が使うことで、子どもたちに豊かな環境を残してあげることができればいいですね。また、この年賀状を通して、親子で環境について考える時間や、会話する時間が増えるのではないだろうか。地球の未来について、笑顔で語ることができる子どもたちが増えてくれることを願っています」

と昨年、小学校でこの年賀状を用いた体験授業を行った乙武洋匡さん。20代の頃には、それほど年賀状の必要性を感じていなかったと笑う。ところが、30代となり、子どもも生まれた現在、



平成 21 年用  
カーボンオフセット年賀  
1枚 55円 で 10月 30日 から 販売。今年 は 古紙 配合 率 20% の 用紙 を 使用 し た インク ジェット 紙 を 3000 万 枚 用 意。他 に、通 常 の 単 面 無 地 1000 万 枚、企 業 向 け の 四 面 速 刷 2000 万 枚。http://www.carbonoffset-nenga.jp/

改めていろいろなお世話になってここまで来たことを実感した。日頃は会う機会がなくても、1年に1度、年賀状という形で近況を報告しあうのは、大切な文化だと感じたという。

乙武さんが勤める小学校では、環境に対する子どもたちの「気づき」を引き出す授業を行っているそう。そのため、「地球温暖化やリサイクルについてなど、小学生は大人よりも正しい知識を身につけているかもしれないよ」と話す。そこで、乙武さんからアドバイス。

「家庭は、知識としてだけでなく、実践を通して。エコを伝えられる場。習慣はとて大きな力になる。「親がやってきたから」「子どもの頃からそうしてきたから」と自然に身についた習慣が、実は地球に優しい行為だったとなれば理想的ですよね。僕自身、環境問題に興味のあった妻の影響で僕の行動も変わり、電化製品のコンセントをまめに抜くようになったんですよ」

習慣として身につけられるエコとして、「カーボンオフセット年賀」を活用してほしい。年の初めの決意にもなるハズ。